



音楽を通して人と人との関わりを増加させたい！

アイデア

- 地域のさまざまなコミュニティで、盆踊りに使う曲の歌詞を作るワークショップを開き、盆踊りの音楽を作る。
- ワークショップを通して多世代交流を行い、出来上がった曲でみんなで盆踊りをする事で庄内の様々なコミュニティ間の連携を目指す。

具体的な作り方

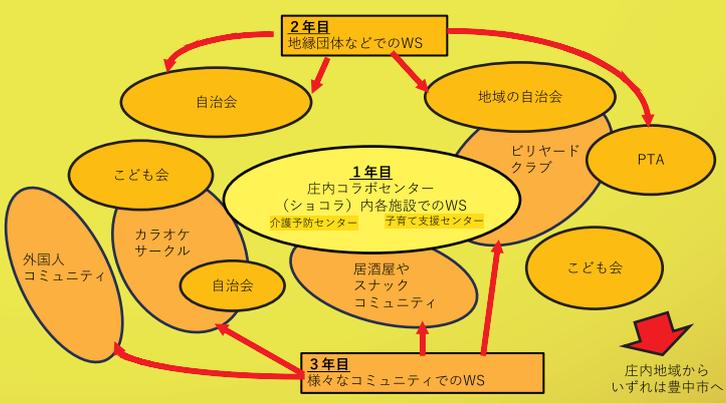
- 1 曲作りワークショップ**
 - その場所の人々に庄内に関する歌詞やキーワードを書いてもらう。
 - ベースとなる曲は事前に大阪音楽大学ミュージッククリエイション専攻が作成。
- 2 レコーディング、振り付けを考える**
 - 完成した曲をレコーディングし、音源化する。
 - 完成した曲で地域の盆踊り振り付け師の方に振り付けを考えていただく。
- 3 SNS にアップする**
 - 完成した盆踊りを Instagram や YouTube などの SNS で発信する。
 - ワークショップを広めるために、活動全体の取り組みを SNS で発信する。
- 4 夏祭り、盆踊り会場で披露する**
 - 夏祭り（庄内神社、南部フェス）櫓（やぐら）のある所で盆踊りを披露。
 - 毎年庄内のイベントで親しまれる曲にしていく。
- 5 人と人との関わり増加**

理由

- 1** 盆踊りは新たな形に進化し、多様な人々が参加するイベントとして注目されている。
- 2** 学生、地域の高齢者など、様々な人が参加できるイベントにすることで、世代間の交流を深めることができると考える。
- 3** 大阪音大では、2024年11月に待ち行く人々から街に関する様々なキーワードを書いてもらい、地域の歌をつくる「曲作りワークショップ」を開催した。その経験からまちづくりやコミュニティ強化に向けた取り組みに活かせる可能性を見出した。

実現の流れ

- 1年目 実験的な取り組み**
 - 庄内コラボセンターでワークショップを開催
 - ・庄内介護予防センター >>> 65歳以上の高齢者を対象
 - ・子育て支援センター >>> 幼児と保護者を対象
 - ・ショコカフェ >>> 学校終わりの小中学生を対象
- 2年目 小規模コミュニティでの実践**
 - ・曲はそのままメロディーと歌詞を変え、新たに曲を作成。
 - ・夏一秋に開催される地域の盆踊りやストリートで披露。
- 3年目 目的を持つコミュニティでの実践**
 - ・飲み屋や風呂屋、ビリヤード、パチンコなど、それぞれ目的を持ったコミュニティを対象にワークショップを開催。



庄内地域から
いずれは豊中市へ